



## 第Ⅳ期中期経営戦略を策定 イノベーション拠点に向けて 追大総持寺キャンパス 2025年に拠点集約・新施設計画

追手門学院大学(略称：追大、大阪府茨木市、学長：真銅正宏)は、教育・研究力向上のための経営基盤の安定化と学部多様性の確保によるイノベーション創出を目指し、2022年4月から6年間の中期計画、第Ⅳ期中期経営戦略を策定しました。

文理を超えた学びを推進し、学部増設および理系学部開設構想などにあわせ、既存学部のキャンパス配置を見直し、茨木総持寺キャンパスに新校舎を建設して大半の学部・大学院および本部機能を集約することで、2025年4月から茨木総持寺キャンパスを拠点化します。

すでにソフト面では2021年より学生の学びを個別最適化する教育DXの取り組みを、文部科学省の「教育高度化事業」の採択を受けて全国に先駆けて進めており、ハード面も整備することで全国のモデルとなる一大学術・教育拠点へと進化を図ります。

### 【ポイント】

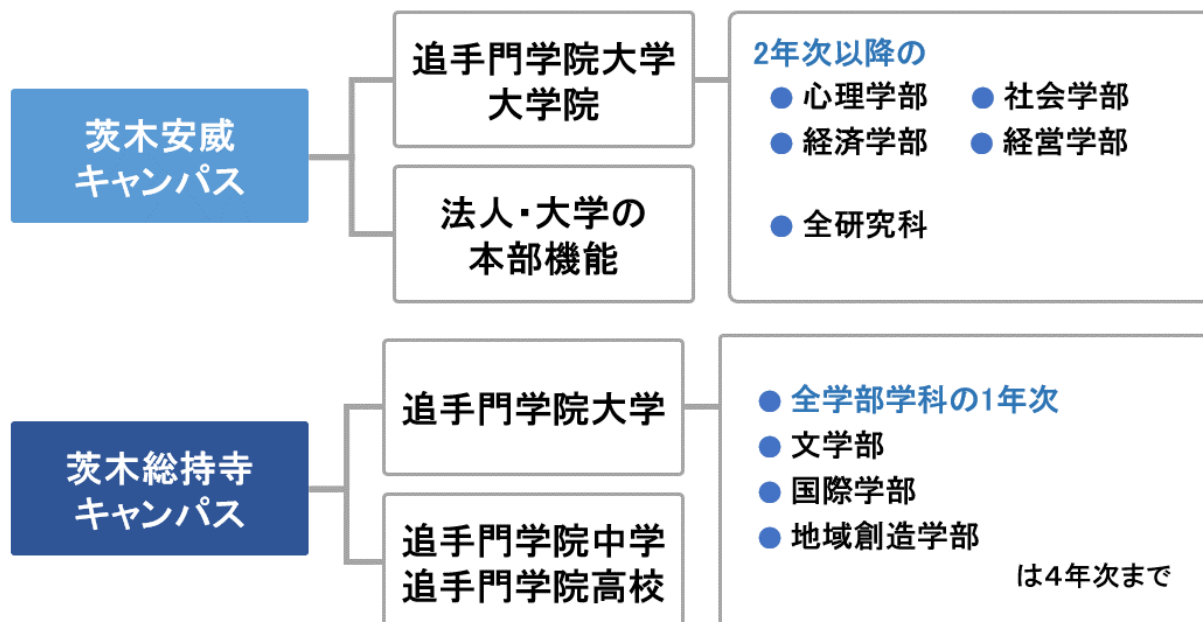
- 2022年4月～2028年3月までの第Ⅳ期中期経営戦略を策定
- 経営基盤の安定化、イノベーション創出に向けた学部の多様化および規模の拡大
- 茨木総持寺キャンパスに新校舎を建設(総持寺キャンパスⅡ期計画)
- 既存学部は2025年に心理学部(2～4年次)・大学院心理学研究科以外を茨木総持寺キャンパス集約
- 教育DXの取り組みを2021年より展開中
- 茨木総持寺キャンパスを拠点化し、全国のモデルとなる一大学術・教育拠点へと進化を図る

### 【茨木総持寺キャンパス 学部・大学院再配置計画】



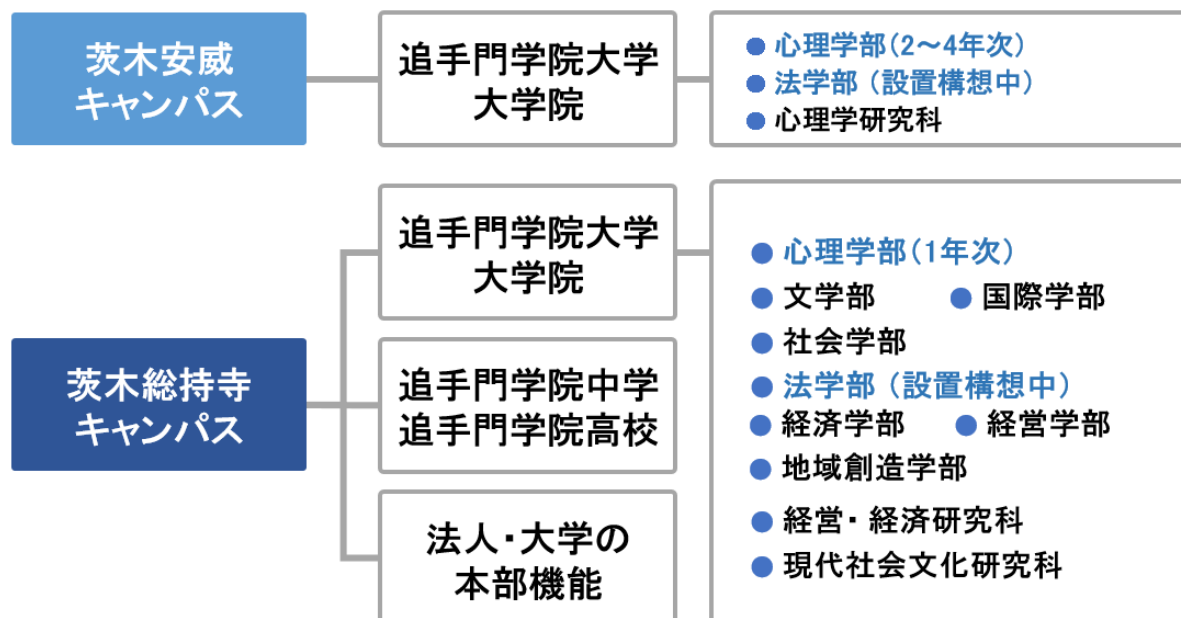
キャンパス配置図

## 2022 年 4 月時点での学部・大学院配置



2022 年 4 月時点 茨木安威キャンパス 約 4500 人 茨木総持寺キャンパス約 3800 人

## 2025 年 4 月時点での学部・大学院配置計画



2025 年 4 月時点(発表済の計画および現在の規模で換算)

茨木安威キャンパス約 1000 人 茨木総持寺キャンパス約 8000 人

法学部は 2023 年開設予定(仮称・設置構想中)

理系学部は構想中のため含めない

## 【総持寺キャンパスⅡ期計画】



新校舎完成後の全体鳥瞰イメージ

2025年の茨木総持寺キャンパスの拠点化に合わせ、2019年に開設したアカデミックアーク（Ⅰ期棟）の東側に、地上6階建て南北に約250mの新校舎（Ⅱ期棟）を建設します。

学生が学ぶ教室や、研究室、様々な学びと交流を促すエリアを協働空間として同じフロアに配置することで、学生同士の主体的な学びを促進し、学生と教職員が互いに「学びあい、教えあい」交流することによって、新たなアイデアを生み出しイノベーションが創出する環境を目指します。



新校舎 外観パース



学生同士、学生と教職員との交流を促す空間

1階部分は、地域や社会との協働の場として広いフリースペースと600人収容のホールを設けます。また、2階～5階は中教室および小教室、研究室、自由に議論や発表が可能な交流エリアを同じ空間に配置します。6階には事務機能を集約配置し、職員の業務エリアのフリーアドレス化と合わせて、イノベーションの創出拠点として職員の働き方も改革していく予定です。

## 新校舎の概要

建設予定地	大阪府茨木市太田東芝町 1-1 茨木総持寺キャンパス内
敷地面積	約 6 万 4 千㎡
延床面積	約 4 万 4 千㎡ (※建物全長 南北に約 250m)
構造	R C 造
階数／高さ	地上 6 階／約 22m
着工予定	2022 年 10 月
竣工予定	2024 年 10 月
現況	埋蔵文化財発掘本調査完了

※キャンパス等のイメージ写真は自由にご使用ください。

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・仲西